



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆ことを教えてくれてありがとうございます。
調べたときより、分かりやすく実際に聞いて、本当に恐ろしい出来事だとあらためて思いました。

心に残ったことは、原爆症というこわい病気があることを知って、原子爆弾は生き残っても病気の原因にもなるこわい核兵器なんだなと思いました。また、中心温度100万℃と表面温度7000℃という温度で太陽の表面温度よりも熱い温度なのになぜ落としたのが意味が分かりません。そのぐらい熱いのに生き残った人がいるのはすごいと思いました。

また、原子爆弾でキノコ雲という雲ができることを初めて知りました。真下から見ると赤や青というぶきみな色をしていてびっくりしました。そんな色になるのはなんでかなと思いました。広島人口35万人中被爆数24万人、死者数14万人死亡率40%ということを知って、はかいかははんはないから、こわいなと思いました。今回ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話聞いて、学んだことがあります。原爆先生の話は実際に体験している原爆先生のお父さんのお話だからビデオなどを見ながら話を聞いてるわけじゃなくて画ぞうを見ながら話を聞いているだけなのにとてもリアルな感じで分かりやすかったです。

私は原爆先生の特別授業の前からインターネットや本などで、原爆や戦争について調べていました。でも原爆先生の話はインターネットなどよりも残酷で、想像が出来ないくらい怖い話でした。後は、自分が調べていなくて知らなかったことなども聞いてとても勉強になりました。

原爆の温度が7000°と聞いてとてもビックリしました。太陽の表面温度が6000°だからそれよりも1000°も熱いのが落ちてくるなんてとてもひどいと思いました。

初めて知ったのは、原爆投下の候補が、広島、小倉、長崎の3つあったことです。そのうちの2つの都市が投下されてとてもひどいと思いました。大やけどをしてる人や、黒くこげて生きているのか死んでいるのか分からない人たちもいたりして、みんなはなにも悪くないのに痛いおもいを、死んでしまってもひどいと思いました。もう戦争は絶対にしてはいけないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生のお話を聞いて、一番印象に残った言葉があって、その言葉は、原爆先生のお父さんが言った、「キレイすぎる」と言う言葉です。あの模型でも悲惨だったのに、「キレイすぎる」という言葉でどのくらい悲惨だったのか分かりました。

後は、「候不申になった都市」の所で、京都は日本の文化があるから、落とさないというのをおかしいと思いました。たしかに京都は文化が一番、というの私も思いますが、だからといって広島などをねらうのは、広島にだけ文化はあるのに、おかしいと思います。

それから、原爆先生の表現のしかたも印象に残りました。池田義三さんになりきってる時も分かりやすかったし、周りの表現も音で現した所が残りました。

今回の特別授業を通じて、戦争がすごく悲惨な物、やっばい物というのがよくわかりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生の話聞いて、自分が調べたものより、
思っていたのより怖かったです。その理由は、原爆先生のお父さんが体験したのをそのままそのまま話しているからです。原爆先生は、原爆が落ちる前、落ちた瞬間の音まで再現してくれました。実際に落ちた時よりは怖くないと思うけど、十分のくらい怖さは感じられたと思います。原爆先生のお父さんが、トラックに乗ろうとする人達を助けようとして、手を引っ張ったら皮ふがはがれ落ちたという話も印象に残りました。人間の皮ふが、さわっただけ、少しく下を引っ張っただけではがれ落ちるなんて、想像しようとしても出来ません。でもそれだけの威力があったという、とても怖いです。こうやって原爆が落ちた時、落ちて何日かたっから七なくなっ人もいるけど、70年以上がたっ今、原爆のえいきょうで七くなる人もいるからおびえながら生きてるのではと思いました。5人に1人が七くなるというのもおどろきました。私の学年だと8人ぐらいが七くなってしまいます。「自分が生きていない時代で良かったなと、最初は思っていたけど、今の時代もそういう可能性は十分あるの下いつの時代も平和とはいきれないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受けて、心に、
残ったのが、二つあります。一つ目は、放射
線を、あびてしまうと原爆症という怖い病気にば
ってしまいます。その病気にかかると命にかかっ
てしまうと、多数の人とが亡くなってしまいます。
二つ目は、池田義三は、17才で、へいたいたった
た。原爆が、落ちた後、町を歩いている時に、
へいたいさんたちを助けて、原爆に打たれた人た
ちなどが、たすけを、求めた。中には、子供をか
かえていた人たちもいた。たすけたけれど、次の
しじか、あるかぎりたすけることは、できなかつた。
そんなとてもつらい思いをした。涙がでてきた。
私は、この90分間で、学んだことは、戦争は、人を
苦しめることになる。だから、戦争は、せつた
いに、二度としては、いけないことが分かった。
短いような長い間くしたけど、おもしろい
中90分間の原爆先生の特別授業は、とても、
分かりやすかつたです。いろんなことが、学
びました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話聞いて印象に残ったのは、全てです。

初めて知ったことは、広島が天気が悪かったら、小倉に小倉の天気が悪かったら、長崎に

原子爆弾が落とされるつもりだった。7ことを知った。ほかにも、知ったことは、

6つあります。1つ目は、原子爆弾を落とす場所です。落とす場所を強くおされ

たのが京都でした。理由は、京都には、建物が作りかたです。でも、京都は、

古都だから落としませんでした。2つ目は、原子爆弾を落としてから、このことを急げきに

落として、飛行機は、右の方へにげた。3つ目は、広島市民は、原子爆弾は、パラ

シュートに落とされてきたと言っていたけど、本当は、パラシュートに落とされてきてな

り。広島市民がまちがえたのは、パラシュートじゃなくてラジオゾンブーだ。

原子爆弾は、横おきに回りながら落ってきた。4つ目は、太陽は、6000°で、原子爆弾

7000°で、人の体の水分が11、10分で無くなってしまう。5つ目は、熱線をいちばん

うけたのが、原爆ドームでした。中にいた人々は、木になるか、骨だけになってし

まう。6つ目は、死亡率が40%だ。たいていことです。広島市の人口35万のうち、5人に2人が

死んだと知った。この6つを知って、その時の大変さが、すごくすごくつたわって

きました。おしえてくださってありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原子爆弾を投下するのに良い条件は、直径5kmを超える、平野である、空襲がなかったという条件だということが分かりました。そのことから、候補になった都市は、広島、小倉、長崎だということも分かりました。

原爆が投下されると、熱線、衝撃波、放射線がくることが分かりました。そして、熱線は、一瞬にして人を消してしまい、人がいたところには、黒いかげのようなしみが残ると知って怖いなと思いました。爆心地付近は真空状態になると分かりました。

そこで発生する雲は、赤、青、むらさきなどの色で「原爆雲」とも呼ばれ、戦争の時にその雲が発生すると知っておどろきました。

原爆が爆発したときの中心の熱さは、約100万℃で、表面は約7000℃で、太陽の表面温度が6000℃なので、中心の部分はとても熱いんだと思いました。

今回爆発したのは、ウラン1kgで、もとウランが27kgあったが、1kgしか爆発はしなかった。けれど、1kgでこんなに被害がおよぶと知って、おどろきました。

この授業を通して、二度と核兵器は使わないでほしいと改めて感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して、とても悲惨な出来事だと、改めて感じました。7000℃というとても熱い表面の温度に、驚きました。広島に投下された原爆のリトルボーイの重さ、約4tという重さに、とてもビックリしました。私の調べた事の中に、広島に落とされた原爆は、原子爆弾のウラン235という、天然ウランの中にはごくわずか0.7%ほどしか存在しないという事。1945年12月末までの死者数、およそ12万人というとても多くの死者が出ていて、原爆はおそろしいものだと思いました。そして何よりおそろしいものは、熱線と衝撃波、放射線とともに、市街がおそわれたという、とても怖いことが一番心に、残りました。そして、原爆ドーム。広島市で、小さいながら、ひときわ目立っていたというこの建物は、広島原爆を忘れないための建物で、どれだけ原爆が怖いものかが分かりました。原爆先生の話を聞き、戦争はやはりあるは、いけなく、起ってはいけないということが、とても理解できました。原爆についていろいろ教えてくれて、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講し、原子爆弾がおそろしいものだ”と改めて感じました。まず驚いたのが、原子爆弾の温度です。表面の温度が約7000℃、中心の温度が100万℃だそうです。太陽でも約6000℃なので、原子爆弾は、表せないほど熱い温度なのだ”ということが分かりました。また衝撃波は毎秒440mだそうです。熱い温度で体の水分が蒸発して、衝撃波でバラバラにくた”かれてしまうと聞き、鳥肌がたつほどびっくりしました。

広島市の人口は35万人だそうです。そして被爆者が24万人、原爆の後遺症で亡くなった方々が14万人、死亡率は40%だそうです。5人に2人が原爆によ、て亡くなった”という計算になります。たった1発でたくさん命をうば”ってしまう原爆はおそろしいものだ”と本当に感じました。

貴重な授業、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話聞いて資料でのっていながら、原爆について知ることができて良かったです。

原爆先生の話聞いておどろいたのが原爆が爆発した上空や爆発した真下の温度が太陽と同じくらいと知って、ものすごくびっくりしました。原爆はおそろしいと思いました。

原爆先生のお父様である、池田義三さんが原爆を体験しており、その池田義三さんが体験したことを原爆先生が分かりやすく説明してくれました。その話を聞いているうちにたんと頭の中に原爆が落下した後の様子や、原爆で苦しんでいる人たちの様子が頭に入ってきました。もう、こんな恐ろしいものは、日本に落ちてきてほしくないと思いました。この原爆一つだけで多くの人命をうばってしまうほどだから怖いと思ってしまう。それに、生き延びた人でも体のどこかにはケガを負う人がいました。原爆先生の話聞いてあらためて原爆は二度と作ってはいけない物だと思いました。国語の学習でも、原爆ドームについて学んでいました。やはり原爆ドームの話を読んでも、多くの人々が死んだと書いてありました。あらためて原爆はこわいし、二度と作ってはならないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゆうこう

表

ぼくが原爆先生から学んで思ったこと・感じたことは、原爆先生から学ぶまえに、クラスで調べ学習をした時本には皮が取れるとは書れていなか、たのに、先生からきくと手を引っぱると、皮が取れて、手にはいやなかんしょくがのこると聞いた時に、ぼくは鳥肌が立ちました。ぼくは、池田義三さんがどんなにくるしかたのかわからし分かるような気がしました。川には、たくさんの死体が、ならんでいて、それを焼くというのは、ぼくには、こわくて、出来なけれど、兵の人は、よくできたなと思いました。ぼくは、この特別授業を通して思ったことは、原爆は、ぼくが、思っていた以上に、いけないもので、今の核兵器の技術は、進んでいるから、もしもまた日本に原爆がおとされたら、あぶないからこわいな、と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生へぼくは先生の言葉を聞いてぼくはとても残酷だと思いました。被災者のみなさんが苦しんでいるところがとても残酷でした。そして広島の人口は25万人なのに約4万人の人が死者がいたことがとてもかなしかったです。あと原子爆弾投都市の条件で、なんぞ望みが無いといけ無いといけなかったのかすごくふしぎでした。これから日本も外国もかんていをつくらないようにしてほしいと思いました。ぼくは、いかりをまわりになぐすおぼうにします。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生へ今回は特別授業を受けさせて頂き誠にありがとうございます。今回は「7000℃の少年」というテーマで受けさせて頂きました。先生に教えて頂いた中で特に心に残ったのは、燃焼したウランの量が1kgだったことです。この1kgで広島市がそのような痛々しい姿になってしまったのだから積んでいた60kg全てが燃焼したら広島県全体が火の海になると思いました。けれど今の世界ではその千倍という恐ろしい威力のものが一万五千発所持していると知ると心が破裂しそうです。原子爆弾の威力は爆発した時の表面温度7000℃、中心温度100万℃という大変なものです。もしその時その時間自分自身ももしその場所にいたら、心の震えが止まりません。最後に心に残ったことと同時に17歳で軍隊に入った義三さんが任務を果たすためにたまたま広島県に行き原爆に遭遇した時の驚き、そして死体運びに務める苦しみを僕も心に入れてこれからも一日一日を過ごしていこうと思います。本当にありがとうございました。また常に原爆に苦しんだ心を忘れないで進んでいきます。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生特別授業をやってくれてあ
りがとうございました。原爆のおそろし
さがずいぶんわかりました。原爆十秒
間にもなごいんをころしてしまふコトがあ
かりました。音を聞きかへしは、おそろし
い物だとわかりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

原爆先生此度は原爆の事について教えていただきありがとうございました。僕は原爆についてある程度知っていたつもりでしたが、実際に体験した方やその家族の話を知ると、その惨い様子を実際に今体験したかのように思い、その怖さを実感しました。特に僕が特に印象に残ったのはその熱系泉の温度です。太陽より熱いのは知っていましたが、中心は100万Cもあると聞き、驚愕しました。まさか太陽の表面と99万4000Cも差があるとは、夢にも思っていませんでした。

原爆先生の話を聞いて、やはり原爆は糸色文才に使ったり、作ったり、使わせたりは出来ないなと思いました。これからは原爆の恐ろしさを世の人々に伝えていってください。かげながら応援しています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、一番驚いたのは、原子爆弾の温度が表面温度7000℃で、中心温度約100万℃で、太陽の表面温度が6000℃だから、太陽より、1000℃も熱いということでした。そして、さらに驚いたのが、その熱線で、人の体中の水分が蒸発して、内臓が、炭の塊になるということでした。そして、次は、衝撃波が、襲ってくるけどその衝撃波の速さが、音の速さ秒速340mで、衝撃波は、秒速440mで、音の速さより秒速100mも速いということでした。

そして、実際に見た人の話で、「目の前に居た人が消えた」と言っていた人がいたということや、爆発で影だけが残った人がいるということでした。そして、広島市に落ちた原爆で死んでしまった人達14万人に対して、広島市の人口は35万人で、死亡率40%で、改めて、原爆は、使ってはいけないし、怖いなと思いました。

原爆先生の特別授業では、驚いたことがたくさんありました。特別授業、ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

初めに7000℃の少年から始まりました。最初は、7000℃の少年とはわかりませんでした。話を聞くうちに7000℃の少年の意味が分かりなおかつ原子爆弾のおそろしさが改めて感じました。原子爆弾は一言で言えるけど原子爆弾は爆発すると太陽みたいな物です。表面は7000℃で中心は100万℃です。上空600mで爆発しても3000℃の熱風が来ることが分かった。なおかつ衝撃波もくる。衝撃波は音速より速い。広島に投下した原子爆弾の名前は「リトルボーイ」。リトルボーイには爆発のもとになるウラニウムが60kg入っていた。その1kgしか爆発しなかった。ウラニウムが1kgだけで広島の人かほぼ死亡したことが分かりとてもこわくおそろしい物だと思った。ウラニウムが投下する候補になった都市は6個ありました。広島がえらばれたのは天候がよく投下しやすいのでえらばれました。リトルボーイが投下した飛行機は速度を上げにげたそうです。速度を上げた方法は高度を下げながら逃げた。話を聞かせてありがとう



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆の威力は調べていて分かっていました。でも、改めて聞くと想像していた威力とは全然違ったので怖いと思いました。それは、熱線です。

地表面の温度が摂氏3,000~4,000度まで達して鉄が溶ける温度以上ということです。印象に残ったのは、被爆した人々が手をななめ前にして「助けて、兵隊さん」と言っていることです。想像するとしてもおそろしいです。でも実際に起こったことで怖いです。

原爆先生のエピソードの飛行音や爆発音をしっかりと再現してくれて分かりやすかった。池田義三さんの日記から書いた本を誤りなく読んでくれて、恐怖感や悲しさが伝わってきました。僕は調べていなければ全然学べていませんでした。例えば、広島以外にも目標があったことや人が原爆の影響を受けると、すがたがなくなってシミだけが残るということです。でも、くわしいことがきっかけで戦争は行っていないことを改めて思いました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の話を聞いてとてもびっくりしました。本当に体験した人の日記は、とてもリアルだなと思い、その話を聞いてこんな事を思いました。最初は京都に原爆を落とそうと考えていたけどやめ、広島に落とすことになり、とてもかわいそうだなと思った。そして八月十五分とても晴れた日のことでありその時にエラゲイから原子爆弾直径3.12m、重さ四七にもおよぶものが落とされ、三の影響^{影響}が起こったのを知りました。一つ目は熱線、二つ目は衝撃波、三つ目は放射線この影響^{影響}で多くの人が亡くなつてしまったのが、かわいそうでした。熱線の影響^{影響}で人が骨も残らずただ黒い陰のような物しか残つていながらという話を聞いた時には、それだけ、原子爆弾の威力が強いなということを感じました。原子爆弾の中心の熱さは、100万にもおよんで、高さ600mのところまで火暴^{火暴}発して、直径200mにもおよぶ大きな火の玉が出来て人々をおろしました。原子爆弾が落とされた瞬間、2万人が1秒間に死んでしまい、約5人に2人が死んでしまつたそうです。原爆先生の話を聞いて、一生忘れないと思っていました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は、原爆先生の話 を聞いて色々おどろきました。特におどろいたのは、広島や小倉や長崎の他にも横浜、新潟、京都が候補になった。その中でも、京都が一番だった。その理由として建てる物がたくさんあるからとかいの結果が分かるからだ。た。でも京都は昔からの物が多いから原子爆弾を落とすのはやめたと聞いて昔からの歴史がこわされなくてよか、たと思、た。広島が晴れていたから落としたそうです。落としたり上空600mで爆発した。そして、温度が7000℃までい、てその熱さは太陽より熱いと聞いてものすごくおどろきました。人の影だけがこの、て人がいなくな、たと聞いた時は人がいなくな、てしまうほどの熱さだ、たのかと思、た。原子爆弾は落とされた時に死ななくても時間がた、ってから死んでしまうということを知、て原子爆弾はすごくこわいなと思、た。原子爆弾は二度と使、てはいけないということを改めて感じました、



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

池田さんの話を聞いて戦争がないとあるでは全然ちがうことが分かりました。

衝撃だったのは、広島に投下された原爆「リトル・ボーイ」のことです。

直径200mで表面温度7000℃もあり中心の温度は100万℃もあるとわかって、600mは離れた所でも3000℃もあるとすると、人は死ぬだけでなく、跡形もなくなってしまうと、ふるふるほどこわいと思いました。

これからは原爆が落とされないように日本もがんばってほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

広島に、横、約3m、重さ約4tの「リトルボーイ」という原爆が落とされました。日本に原爆が落とされたことにより、今の平和な日本があるのだと思います。日本に原爆が落とされなければ、もと外国に攻めきりして、もとひどい目にあったかもしれないのではなにかと思います。今は平和な日本だけど、当時の広島にとっては最悪な事態です。およそ7000人を浴びた人たちは一瞬にしてこの世を去りました。ぼくは戦争、原爆を忘れないために原爆ゲームを壊さない方がよいと思いました。原爆という言葉のない世界になってほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

話を聞いて、原爆のおそろしさと落とされた町の
いたいたしさを感じました。

もうどうにも原爆が落とされないことをいのりませ。

人の皮がはがれるとか、全身をけとるとか

想像おだけていたいたしい事ですね。

本当にそんな目にあつた人がいるなんて、

今でも信じられません。

原爆のいたいたしさは、石簡単にたぶ物では
ありません。

でも、これから被爆者の方たちが、

原爆のいたいたしさをつたえてくれると思ひませ。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

広島県に原爆がおちて、14万人が死んでしまいました。ぼくは、アメリカは、ひどい国だと思いました。なぜなにかとほしがないのに、急にくるなんて、せついと思いました。

どんなミサイルを、う。たかと言うと、「リトルボーイ」です。重さ47もあるミサイルです。

ここで、ひどいことに、ミサイルの由来に、ナベツクのおかあさんのおまえです。

あと、広島県に、た時いろいろな人がおけどし、手のかおかさね。ただで「ズル」とか人たんにはげ落ちて、しまいました。

ぼくは、それを聞いて、もう、かわいそうだと思、た、

だから、ぼくは、もう、戦争のないようにしてほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾のおそろしさが強く心に
しみました。原爆の中のしくみまで
知ることができました。アメリカの
軍人は、ひとりも死なないうの
に日本は、大量の人がとくな、て
くまう、この世の中で戦争以外に
は使い用とのないものだと知ること
ができました。強い熱系泉、衝
撃波、放射線この原爆のろ
つのおよほす破かい力が身にし
みました。原爆が爆発したとき
の温度は太陽よりも熱いとい
うほどの兵器でした。ほくは、
世の中の科学は悪い方向に
使われれていないかもう一度見
るめ直すべきたと思いうように
なりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは池田先生の話聞いて、戦争がもたらす怖くりました。人の皮がたれおちるなど想像しただけでは、いたいと思うのに、本人はとってもくるしいんだなあと思いました。千ヘット機長の実の母の名前を、ぼくさんをつんだばくう機に付けるかんでありえないし、母がかわいそうだと思います。これからも、せつたりに核兵器を使い、世界がひいと思いました。本当に戦争の話をしていただきありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

平和だった日本も投下された爆弾によって
平和じゃなくなったことがわかった。
原子爆弾によって24万人の被害者で
14万人の死亡者がいたということがわかん
戦争、原子爆弾がすごい被害が出ることを
改めて実感した。
これからも今みたいな戦争がない世界が
続いてほしい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞かせてくれてありがとうございました。
話を聞いて原爆はとても危ない人物だなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくが一番この授業で心に残ったのは、ラジオゾンデの中に死体があったという話です。生きのびるために、やっこの思いでにげ"こんた"中で、死んでしまうとは、悲惨にもほどがあると思った人のかわがはがれ落ちるなどといった、ことも経験をしたなんて、一生忘れられないだろうと思いました。

原爆資料館に行った時のお父様の「きれいすぎる」は、その時の現状の厳しさを物語っていますよね。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は池田先生の原爆の授業を受けて
 原爆がもたらしたむごたらしさを学びました。
 大変失礼かもしれませんが、「こわい、気持ちわるい」
 と思いました。なので戦争は絶対におこし
 てはいけないと思いました。大切な人を
 なくした人の心の傷はきと一生消えな
 いと思います。「リトルボーイ」は少年という
 意味です。少年、一人一人の少年によって
 たくさんの命がうばわれました。それを
 エノラ・ゲイの乗組員はどう思ったでしょう
 か？「楽しかった？うれしかった？こんなことしにくかった？
 勝ったと思った？」それは私にも分かりません。では
 亡き被爆者はどう思ったでしょう？
 「考えるまもなくでなかった？びっくり？」もし私が
 被爆者であつたら……？「そう考えるまもなくでな
 んでしょうね。」そう思……います。これからは平和で
 あるように私は工夫したいと思いました。
 池田先生の授業のこと、原爆のこと、お父さま
 (義三)のこと一生わすれません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ある晴れた日、何もない平和な日だと、だれもが
思っただろう。そこに広島市全体をおおいつくす
ほどの爆発がおきた。その人々はどう思っただろう。
いや、思うひまもなかっただろう。なんのために、
こんなに多くの人々が亡くならなければならぬのか。
「エイラ ゲイ」につんだ原爆「リトルボーイ」少年という
意味だ。いわゆる少年が広島市を地獄におとしいれた。
歩くにつれ、けがをした人の声「助けて…」「助けて…」
私がそんな声を書いたら胸が痛くなるだろう。原爆先生の
話を聞いた時、話なのに生々しく聞こえた。当時のようすが
そっくりそのままうかび上がるような。広島の人々には
申しわけないが、本当に東京に落ちなくてよかった。
近くの横浜も一つの候補になっていたのだ。でも、
アメリカにもやさしい所はある。京都といえはなにがあるか、
京都には古い都が残されていたから候補にはなったが
なんと除外された。原爆を体験された方はごく
わずかだ。その中で今の平和な日本にどうかたくさんの
人達にも原爆のおそろしさを知ってほしい。あとは、本当に
今の時代に生まれてよかった、それだけはほりに思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

戦争のこわさをあらためて知りました。池田先生の話を聞いたときに、やけどをしたたけでも、大さな火になるのに、もっと熱い、空気などに包まれて私は、耐えられるのかと思いました。かまんできないし、信じられないなと思いました。今までは、広島県の原爆についてじっくり考えたことなかったけど、何分かの動画を見たときに、階段にすわっていた人が、一瞬で灰に変わり消えてしまったり、原爆の落ちたところから、煙や熱風がすごい速さで、辺りに広がっていったり、動画を見ているだけでもこわくなりました。今では、北朝鮮が、ミサイルをもっていて、いつ発射させるかわからないのに原爆よりも規模が大きいとニュースで見たときに、広島だけでも、ひかいたとでも大きいのに、今のミサイルが落ちてくると考えたら、とてもこわくなりました。池田先生のおかげで本や、インターネットでは、分からない本当の戦争のこわさを知ることができました。この実際にあった出来事を忘れては、いけないと思いました。今回は、たくさんの原子爆弾や、その規模について教えていただきありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

皮フがただれ落ちる話を聞いて想像し
 たら、ざんこくだな と思いました。でも、
 ネ皮爆者は丸コケの、ユテダコといっ
 いたので、「いたい」というようなものでは
 おさえられる苦しさではないと感じた。
 被害を受けた人の割合が5人中2人の割合
 で少なくなっていた。あらためて自分の生活が
 平和かこの話を聞いて心から思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

山に囲まれ、平らな所、ほかいの結果かわかる所が原爆を落とすのにふさわしいのなら広島、長崎、小倉以外の所にも原爆が落ちたかもしれないと考えると、すごいとこわいと思いました。エノラゲイ(原爆)の中心が1000万度周りが7000度の熱さで地面でも、3000度。原爆の放射線があたった人は、ひら、かただれてさわるだけでさけぶ位、痛いそしてずれ落ちてしまうのを聞いて想像をやるだけで鳥肌がたちました。本で戦争の話を見るよりも、話を聞いた時の方がどれほどつらい思いをしたのか伝わりました。現在は、エノラゲイよりも強力な



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前や裏面に記入してください

ミサイルのことについて、色々と知れて良かったです。
例えば、「14万人死んだ」ということです。